一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2022 年度　第 1 回　学生交流委員会　議事録

日　時：2022 年 5 月 9 日（火）15：00～16：30
場　所：神戸学院大学　神戸三宮サテライト（ミント神戸 17 階）
出席校：【委員長校】神戸常盤大学（工藤）
【副委員長校】神戸学院大学（荒谷、岸本、寺岡、島内）
【委員校】芦屋大学（中村）、大手前大学／大手前大学短期大学（蘆田）、関西国際大学（山住）、関西学院大学／聖和短期大学（永野）、甲南大学（前田）、甲南女子大学（松井、木村、沢辺）、神戸海星女子学院大学（蔵澤）、神戸市看護大学（神谷）、神戸松蔭女子学院大学（左官）、神戸女学院大学（高地）、神戸女子大学／神戸女子短期大学（今井）、神戸親和大学（横谷）、神戸大学（山地）、神戸常盤短期大学部（工藤）、園田学園女子大学／園田学園女子短期大学部（小林）、姫路大学（中村）、兵庫大学／兵庫大学短期大学部（吉田）、兵庫県立大学（三嶋）
【大学コンソ事務局】中水・沓脱
【連携企業】姫路ビクトリーナ（嶋津）
（敬称略）
欠席校：頌栄短期大学、姫路獨協大学

1.　開会
1）委員長校・副委員長校挨拶
開会にあたり、委員長校及び副委員長校より挨拶があった。

2）委員紹介
神戸常盤大学・工藤委員長より、出席者名簿の明示の後、各テーブルに分かれて、委員が自己紹介を行った。

3）大学コンソーシアムひょうご神戸について
コンソ事務局・中水部長より資料 2 に基づいて、大学コンソーシアムひょうご神戸の取組みの説明があった。続いて、2022 年度「テーマ型の学生交流プロジェクト＜WILL　BE　プロジェクト『ヴィクトリーナ姫路　スポーツビジネスコンテスト』＞」における連携先「株式会社 姫路ヴィクトリーナ」嶋津晨次氏から、報告と御礼があった。

2.　協議事項
1）2023 年度事業計画（詳細）・予算について
神戸常盤大学・工藤委員長、神戸学院大学・岸本グループ長より、資料 3 に基づき 2023 年度事業計画（詳細）・予算について説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

2）その他
特になし

3.　報告事項

1）　令和 5 年トルコ地震義援金について

コンソ事務局・中水部長より資料 4 に基づいて、令和 5 年トルコ地震義援金に関する説明と募金の協力依頼があった。

2）　賛助会員について

コンソ事務局・中水部長より、2022 年度 9 月 23 日に実施した、「Autumn Festival in KOBE（オータムフェスティバル神戸)」の連携先「株式会社マルヤナギ小倉屋」より、2023 年度賛助会員への入会希望がある旨、報告があった。2022 年度の本委員会「テーマ型の学生交流プロジェクト」での連携をきっかけに「株式会社立成社」「ナガセケムテックス株式会社」（2022 年度入会）の 2 社に加えて、計 3 社が 2023 年度賛助会員となる予定であることの説明があった。

3）　その他

特になし

4.　意見交換

神戸常盤大学・工藤委員長より、当コンソ理事（学長）間の懇談の場で、大学コンソーシアムひょうご神戸の魅力を大きく発信するような学生交流イベント（例えば、学生による甲子園球場での大運動会等）を期待する意見があった旨の説明があった。それを踏まえて、委員会において交流イベントを開催することについて、自由な意見交換を行った。

また、翌 10 日の理事会にて、改めて本件について懇談があるため、具体的な内容は理事会での議論を踏まえた後、本委員会で検討することとした。

＜主な意見等＞

・パソナが淡路島で大学生を対象に大規模な運動会を開催している。コンソーシアムで新たに他団体と類似のイベントを開催しても、インパクトとしては弱いかもしれない。

・神戸ではマラソン等の取組が盛んな印象がある。例えば、学生が参加しやすいリレー大会など、楽しみながら記録に挑戦する取組なども考えられるかもしれない。

・他地域でマスメディアと一緒に大々的な大学生の文化祭を開催していた。地域と連携する形で学生が集うイベントは意義があるかもしれない。

・運動系だけでなく、文科系の活動にも関心がある多様な学生が活躍できる『大学万博』のような取組でもよいかもしれない。

5 連絡事項

定時総会予定

中水担当部長より、定時総会が 6 月 7 日（水）15：00～16：30 に開催されるとの説明があった。

以上